



- ・日時2025年3月8日（土）
- ・会場：福島県立医科大学8号館 実習室  
10時～12時ファシリテーター育成研修  
13時30分～16時30分講義・演習
- ・講師：POTT プロジェクト代表 迫田綾子先生
- ・演習サポーター：岩手県立医科大学附属病院 柿澤良江先生
- ・ファシリテーター：福島県内摂食嚥下障害看護認定看護師10名
- ・対象：慢性期病院、介護・特別養護老人ホームなどの施設の食支援に関わる職種の皆さん
- 参加者：32名（介護職：12名 看護師・准看護師：10名  
機能訓練士：3名 OT：2名 PT：1名 歯科衛生士：2名  
栄養士・管理栄養士：2名）多職種の方々に参加いただきました。

## 研修会内容

- ・講義：食事時のポジショニング技術と実践（迫田先生）
- ・グループ演習（10Gに分かれて実施）  
ベッド上リクライニング30度・60度 不良姿勢・食後の  
ポジショニング 不良姿勢のアセスメント
- ・車いすポジショニング 応用編紹介
- ・グループ振り返り
- 1G3～4人に1名のファシリテータを配置し迫田先生、柿澤先生  
の全体的なサポートと充実した体制のもとで基礎から応用編まで  
の演習を実施。患者役と介助役を体験することで、感じることを学  
ぶことの多い、楽しく、和やかな研修会になりました。

## 参加者アンケート結果

回収29名・全員がスキルアップ

周囲へ伝承したい 100%

ベッド上スキル平均

前10.3⇒後20.3点

車椅子スキル平均

前9.8⇒後20.1点

（福島県立医科大学看護学部  
共同研究事業 助成）

## ○ファシリテーター研修

認定看護師のスキルアップ！根拠の伝達を！



## ○演習

体験に勝るものなし。  
バスタオルマジック！



## ○講義

ポジショニング、姿勢を見る大切さ！  
最新！窒息評価の標準化！



## ○全員集合 ハイぽっと！

底力のアップ！  
明日からの食事ケアへ！



## ○参加者の学び・感想（一部抜粋）

- ・今はうまくポジショニングができず利用者の苦痛も考えずに行っていたので、今後は考えながら、今日の学んだこといかせていけたらよいと思っています。
- ・研修を受け、昨日までの自分の看護をととても反省しました。今日の学びを職場にフィードバックしたいと思います。
- ・以前はととてもすきな業務でしたが、食事介助に不安や緊張が強く、学びたいと思い参加しました。もう一度学び、自信をもって介助していきたいと思っています。
- ・良いと思ってやっていたポジショニングが意外と負担になっていたことがわかりました。姿勢ひとつで利用者の変化がみられるのであれば、今後使っていこうと感じた。